

(1)献血では感染症に感染しないことの認知 (Q8)

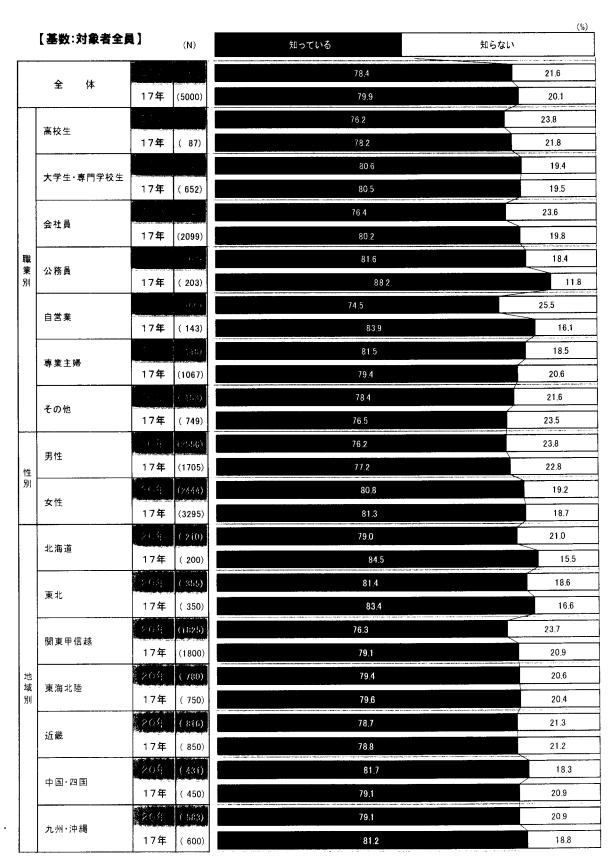
- ●『献血』でエイズ、肝炎といった感染症に感染しないことは、経験者の約8割(78.4%)が認知している。
- 認知率は、職業別・性別・地域別のどの属性でみても、あまり違いはみられない。
- ▶ 17年度調査と比較すると、認知率は79.9%→78.4%と、ほぼ横ばい傾向。
- ▶ 職業別にみると、公務員、自営業の認知率が前回に比べてやや低下している。 地域別では、北海道でやや低下。





(1)献血では感染症に感染しないことの認知 (Q8)

Q8. 献血でエイズ、肝炎その他の感染症に感染することはありませんが、そのことを知っていますか。





(2)血液製剤の海外血液依存の認知 (Q9)

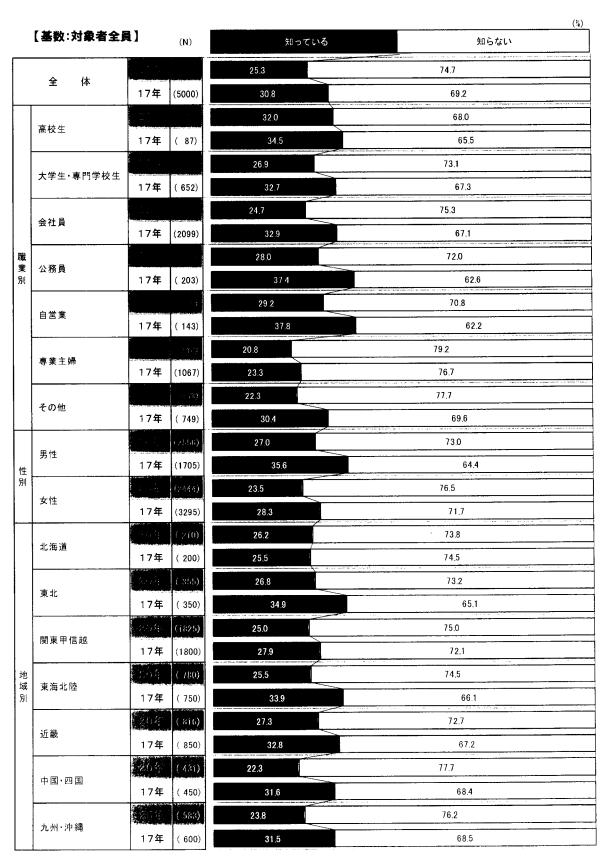
- ●《血液製剤は未だ海外の血液に依存している》ということを認知している人は25.3%と、経験者の 4人に1人の割合。
- 職業別にみると、高校生の認知率が最も高く、唯一3割を超えている。 また、性別・地域別による差はあまりみられない。
- ▶ 17年度調査と比較すると、認知率は30.8%→25.3%へ、約6ポイント低下した。
- ▶ 職業別では、各層とも前回を下回っているが、中でも会社員、公務員、自営業で10ポイント近く低下した。また、性別で男性、地域別で東北、東海北陸、中国・四国、九州・沖縄等でやや低下。





(2)血液製剤の海外血液依存の認知 (Q9)

Q9. 血液製剤(*)は未だ海外の血液に依存していることを知っていますか。 *重症熱傷に用いるアルブミン製剤では、国内自給率は未だ60%台である。





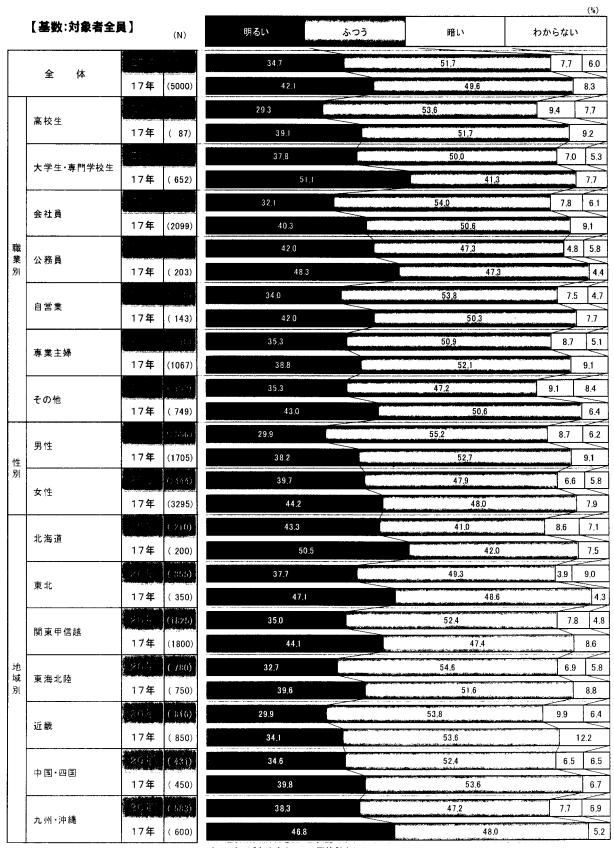
(1)ルームの雰囲気について(Q10-1)

- 『献血ルーム』に対するイメージについて、4つの項目で質問した。
- まず《ルームの雰囲気》という点では、「明るい」が34.7%を占め、「暗い」の7.7%を大きく上回っており好評。ただし、全体的には「ふつう」の評価が過半数を占める。
- 職業別でみると、「明るい」と評価するのは公務員で最も高く、逆に高校生で他層よりも低い。
- 性別では、「明るい」と評価する割合は女性が男性を10ポイント上回っている。
- 地域別では、北海道で「明るい」とする割合が最も高い。
- ▶ 17年度調査と比較すると、前回「わからない」の回答肢がないため、一概には比較できないが、 全体では「明るい」と評価する割合は42.1%→34.7%と、7ポイント減となっている。
- ▶ 職業別にみると、各層とも「明るい」イメージが低下しているが、特に大学生・専門学校生の低下が顕著である。高校生も10ポイント低下した。
- ▶ 性別・地域別では、いずれの層も「明るい」がやや低下しており、あまり違いはみられない。



(1)ルームの雰囲気について(Q10-1)

Q10. 献血ルームのイメージを教えてください。 (1)ルームの雰囲気





(2)ルームの広さについて(Q10-2)

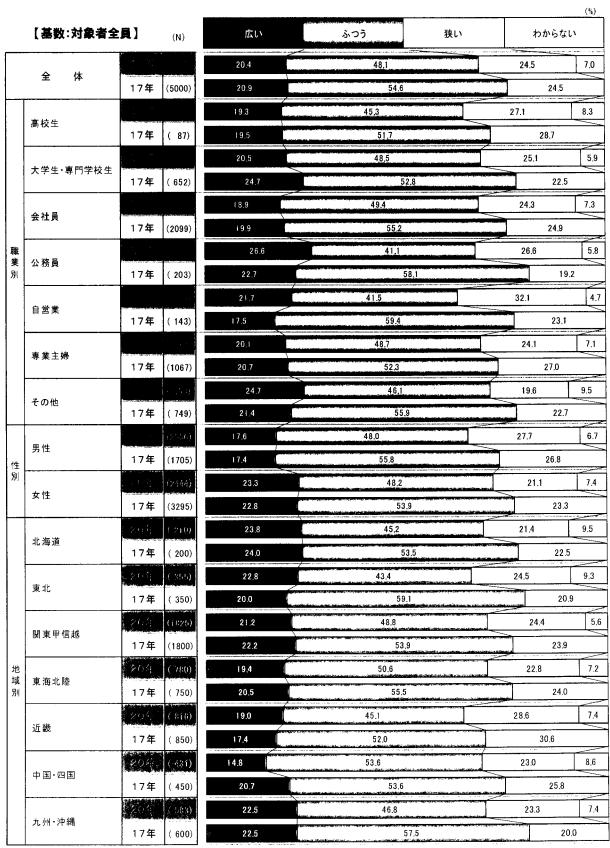
- 《ルームの広さ》という点では、「広い」の20.4%に対して、「狭い」が24.5%と、狭いイメージの方が若干上回っている。ただし、全体的には「ふつう」と評価する人がほぼ半数を占めている。
- 職業別でみると、「広い」と評価するのは公務員で最も高い。一方、自営業で「狭い」とする割合が他層より高く、「広い」を10ポイント上回っているのが目立つ。
- 性別では、男性で「狭い」のスコアが「広い」を10ポイント上回り、女性に比べその差が大きい。
- 地域別では、中国・四国で「ふつう」が目立ち、他地域よりも「広い」とする割合がやや低い。
- ▶ 17年度調査と比較すると、前回「わからない」の回答肢がないため、一概には比較できないが、 全体では「広い」「狭い」とも概ね変動はなく、同様の傾向を示している。
- ▶ 職業別にみると、公務員、自営業で「狭い」イメージがやや増えている。それ以外は、「ふつう」が総じてやや低下している。(このスコア低下は、今回の「わからない」にシフトした模様)
- ▶ 地域別では、中国・四国で「広い」がやや低下している。





(2)ルームの広さについて(Q10-2)

Q10. 献血ルームのイメージを教えてください。 (2)ルームの広さについて





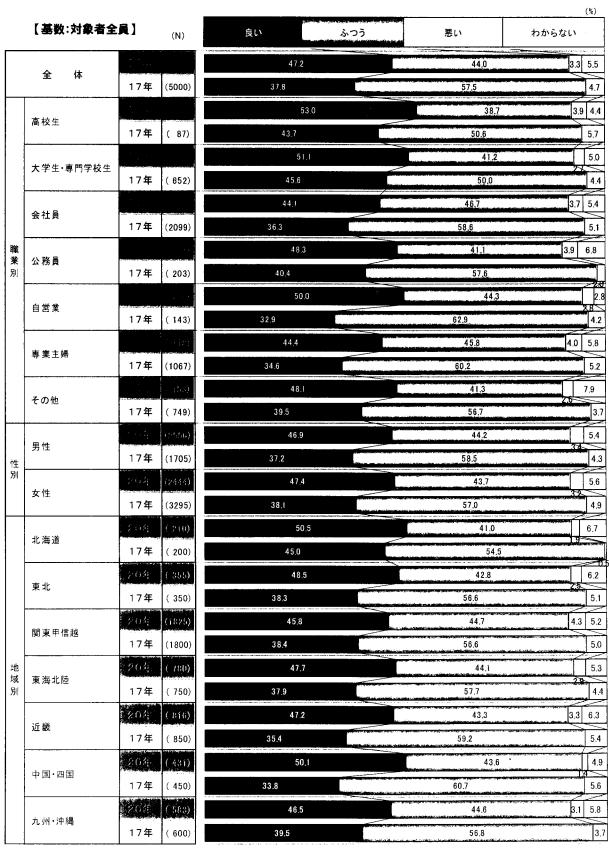
(3)職員の対応について (Q10-3)

- ●《職員の対応》については、「良い」がほぼ半数の47.2%を占めている。また「ふつう」も44.0%となっており、職員に対する評価は概ね良好。「悪い」とする人はほとんどみられない(3.3%)。
- 職業別でみると、各層とも評価は良好だが、特に高校生で「良い」と評価する割合が最も高い。
- 性別・地域別による違いはあまりみられない。
- ▶ 17年度調査と比較すると、前回「わからない」の回答肢がないため、一概には比較できないが、 全体では「良い」が37.8%→47.2%と9ポイント増。その分「ふつう」が57.5%→44.0%へと減少 している。
- ▶ 属性別にみても、職業別・性別・地域別のいずれの層も、「良い」が増加、「ふつう」が減少という傾向は変わらない。その中で、職業別では自営業、地域別では中国・四国において、「良い」が大きく上昇したのが目立つ。



(3)職員の対応について(Q10-3)

Q10. 献血ルームのイメージを教えてください。 (3)職員の対応について





(4)記念品や軽い飲食物について (Q10-4)

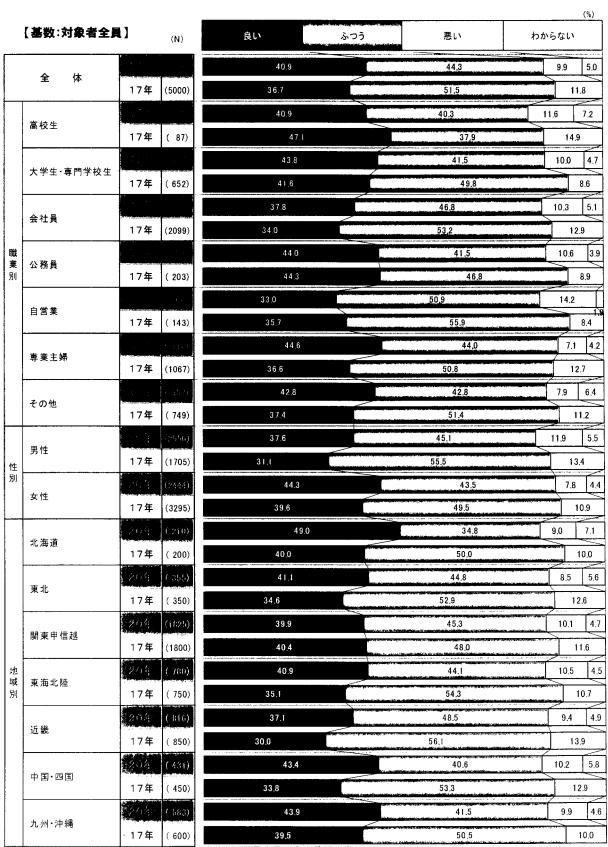
- ●《記念品や軽い飲食物》に対するイメージでは、「良い」が40.9%に対し、「悪い」は9.9%となっており、好意的な評価が大きく上回る。なお、「ふつう」という意見が最も多く44.4%。
- 職業別でみると、他層に比べ自営業で「良い」がやや低く、その分「ふつう」評価が多くみられる。
- 性別では、女性の「良い」評価が男性を約7ポイント上回っている。
- 地域別では、北海道で「良い」と評価する割合が他地域に比べて目立つ。
- ▶ 17年度調査と比較すると、前回「わからない」の回答肢がないため、一概には比較できないが、 全体では「良い」が36.7%→40.9%と若干上昇(4ポイント増)。一方、「ふつう」が7ポイント減。
- ▶ 職業別にみると、「良い」は専業主婦でやや上昇、逆に高校生でやや下がった。一方、自営業では「悪い」のスコアがやや高まっている。
- ▶ 地域別では、北海道、中国・四国で「良い」とする割合が10ポイント近くも上昇している。北海道はその分「ふつう」が大きく低下している。





(4)記念品や軽い飲食物について (Q10-4)

Q10. 献血ルームのイメージを教えてください。 (4)記念品や軽い飲食物について





(1)初めて献血した年齢 (Q12)

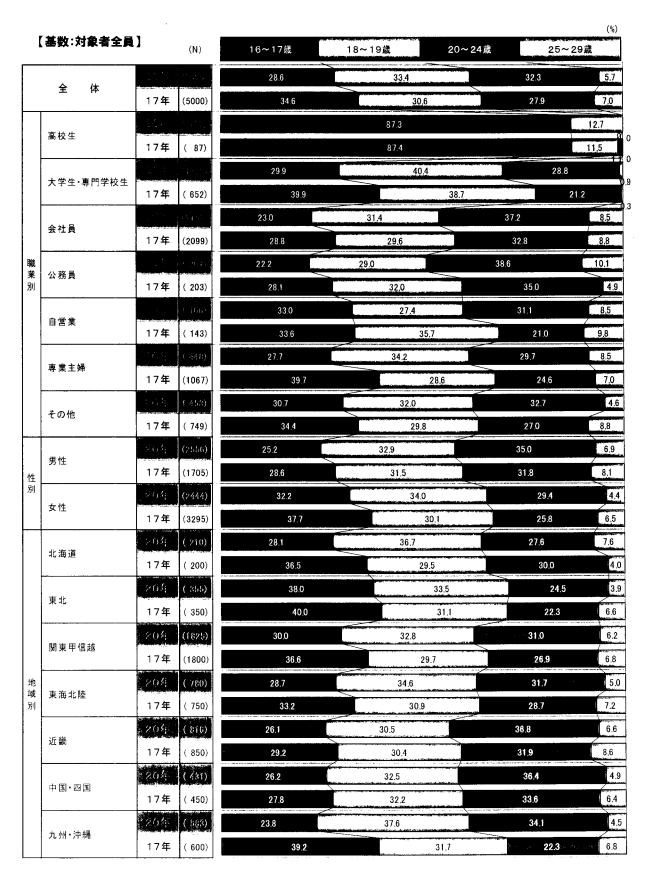
- 初めて献血した年齢は、「18~19歳」(33.4%)と「20~24歳」(32.3%)が、ともに1/3程度を 占めており拮抗。これに「16~17歳」が28.6%で続き、10代での初献血経験者が全体の6割強 を占めている。
- 職業別でみると、当然のことながら高校生は「16~17歳」が9割近くを占め主流。大学生・専門学校生は「18~19歳」が4割と最も多い。一方、会社員、公務員は「16~17歳」が他層よりも低く、「20~24歳」が最も多くなる。
- 女性の初献血年齢が男性に比べて総じて若く、特に「16~17歳」で7ポイント上回っている。
- 地域別では、東北で「16~17歳」の割合が他地域に比べてやや高い。
- ▶ 17年度調査と比較すると、「16~17歳」が34.6%→28.6%と、6ポイント減となっている。 一方、「18~19歳」「20~24歳」が若干増加傾向。
- ▶ 職業別では、「16~17歳」が減少したのは大学生・専門学校生、会社員、公務員、専業主婦。 そのうち、大学生・専門学校生、自営業、専業主婦は共通して「20~24歳」がやや高まる。専業 主婦は「18~19歳」もやや上昇しており、"18~24歳"が前回より10ポイント増えている。





(1)初めて献血した年齢 (Q12)

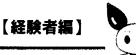
Q12. 初めて献血をしたのはいつですか。





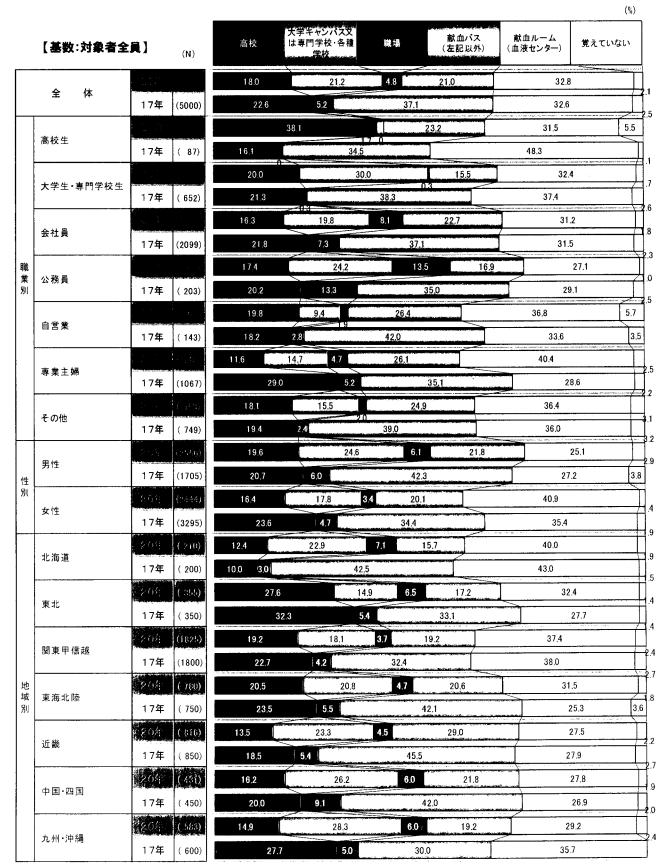
(2)初めて献血した場所 (Q13)

- 初めて献血した場所は、「献血ルーム」が32.8%とほぼ1/3を占めており最も多い。 以下、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」(21.2%)、「献血バス」(21.0%)が同程度、 「高校」(18.0%)の順で続く。
- ●職業別でみると、高校生は「高校(での集団献血)」が最も多い。それ以外は「献血ルーム」中心となっているが、特に専業主婦でやや高い。また、自営業、専業主婦は他層に比べて「献血バス」も比較的多い。一方、大学生・専門学校生は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」と「献血ルーム」がほぼ同程度となっている。
- 性別では、女性の「献血ルーム」利用率が男性を大きく上回っているのが目立つ。
- 地域別では、近畿で「献血バス」が他地域に比べてやや高くなっている。
- ▶ 17年度調査と比較すると、「献血バス」の割合が大きく減少しているが、前回、「大学キャンパス 又は専門学校・各種学校」の回答肢がなかったため、一概には比較できない。
- ▶ 職業別では、各層とも「献血バス」が減少したのは共通。また、高校生は「高校」を挙げる割合が高まっている。一方、専業主婦は「高校」が減少し、「血液ルーム」が増加。女性も同様の傾向。



(2)初めて献血した場所 (Q13)

Q13. 初めて献血した場所はどこですか。





(3)初めての献血の種類 (Q14)

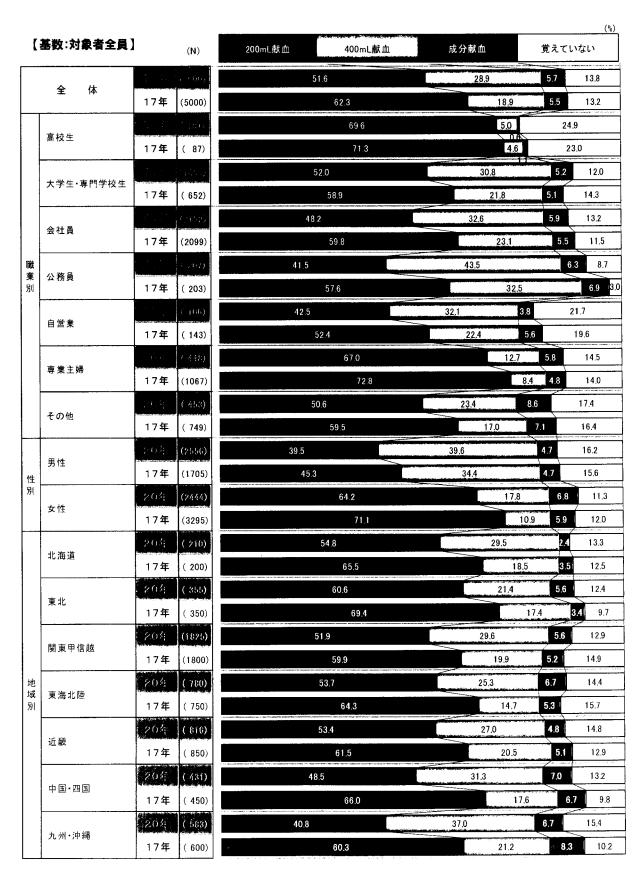
- 初めての献血種類は「200ml献血」が51.6%と過半数を占めている。「400ml献血」は28.9%となっている。なお、「成分献血」は5.7%。
- 職業別でみると、高校生の7割が「200ml献血」。専業主婦も「200ml献血」が3人に2人の割合を占めており中心。一方、「400ml献血」は公務員で他層よりも高いのが目立つ。
- 性別では、男性は「200ml献血」と「400ml献血」が同程度、女性は「200ml献血」が圧倒的。
- 地域別では、他地域に比べて九州・沖縄で「400ml献血」がやや高めである。
- ▶ 17年度調査と比較すると、「200ml献血」が62.3%→51.6%で11ポイント減、「400ml献血」が18.9%→28.9%へ10ポイント増加。両者の差がやや縮まってきている。
- ▶ 職業別にみると、高校生を除く各層で「200ml献血」が減り、「400」ml献血」が増加した。 高校生はほぼ前回並みで変化はみられない。
- ▶ 性別では、男女とも共通して「200ml献血」が減り、「400」ml献血」が増加。また、各地域別でもこの傾向は変わらない。





(3)初めての献血の種類 (Q14)

Q14. 初めての献血の種類は何ですか。





(4)初めての献血で400ml献血することへの不安意識 (Q15)

<新規質問>

- 初めての献血で『400ml献血』をすることに対してどう思うか聞いたところ、6割弱(57.2%)の人は「特に不安は感じない」としている。一方、「不安」と回答した人が26.4%と、4人に1人の割合でみられた。
- 職業別でみると、「特に不安は感じない」は公務員で特に目立つ。一方、専業主婦の4割近くが「不安」としており、「特に不安に感じない」と拮抗している。なお、高校生でも過半数は「特に不安は感じない」としているが、他層に比べて「わからない」が多い。
- 性別では、女性の方が「不安」意識が男性を大きく上回っている。
- 地域別では、中国・四国、九州・沖縄で「特に不安は感じない」がやや高いが、総じてそれほどの違いはみられない。